



犬山
つがおかんのん
繼鹿尾觀音
寂光院



本堂

「石畳」参道・完工



寂光院の本堂は山上にあります。昭和四十八年当時、本堂周辺は地道で、雨の季節はご参詣の皆様も難儀をされました。山の上ですので、資材を上げるのも人手の時代で難工事が予想されました。が、一念発起してコンクリートの参道を敷設いたしました。以来四十五年、あちこち劣化が目立ち段差もできました。そこで昨年八月九日九万九千日記念慈悲行として「石畳」に全面改修を発願、平成三十年十月より工事を始めましたが山上のことですでの、資材の運搬、また残材瓦礫の撤去など、難工事となりました。秋の紅葉シーズンや初詣などを避けましたので、平成最後の四月末に完了いたしました。ご協賛いただきました関係各位に御礼申し上げ、ここに報告申し上げます。

裏堂（本堂裏）

鐘楼

右・展望台へ

千手觀音様は「いつでも・どこでも・誰にでも」

「継鹿尾の觀音様」と親しまれる寂光院の本尊様は「千手觀音」様です。

千手觀音様は正式には「十一面千手千眼觀世音菩薩」と申されます。十一

面とは四方・八方・上下を含めて十方ですが、一番の中心を含めて十一の
方角、つまりあらゆる方角に顔を向けて、「いつでも・どこでも・誰にでも」
千手觀音様は慈悲の眼（まなこ）で見守つていて下さるという意味です。

千手（千）無限の意は、觀音様を必要とする人あらば、順番なんてあ

りません。同時無差別平等にサッと手を差し伸べられる、という意味です。

さて、千手觀音様の手には眼があるといわれています。看護師さんの「看」

という漢字は手と目の組み合わせです。患者さんの様子は目で確認します



千手觀音（内仏堂）

令和二年は子年（ねどし）

寂光院の本尊様は

【子年生まれ御守護の「千手觀音」さま】です

犬山・寂光院山主

まつ だいら
松 平 實胤

が、熱があるかないかは額に手を当てて確認し、脈は腕に手を当てて確認
します。とにかく「手と目をフルに活用してお救いくださる」という意味
で「千手千眼觀世音菩薩」と申されます。

千手觀音様は「大丈夫・大丈夫！」

觀音様は別名を「施無畏者」と申されます。「畏れ（おそれ）無（な）
きを施（ほどこ）す者」という意味です。いつも私たちに「大丈夫、大丈
夫、安心していくいいからね」というサインを送り続けている仏様とい
うことです。私たちは未来に希望を持つことができますが、むしろ不安と恐
怖が先に立ちます。だからこそ「大丈夫だよ、あなたの不安と恐怖は私が

預かるからね。私がいつも味方になつているから、安心して自分が今すべ
きことを精一杯やりなさい」と常に私たちにメッセージを送り続けてくだ
さる仏様ということです。つまり千手觀音様は万人の味方です。

千手觀音様は「子年生まれの皆様の守り本尊様」

千手觀音様は万人の味方です。無差別平等です。しかし、古来より、
「ね・うし・とら・うさぎ・・・・」の十二支に、それぞれ縁深い仏さま
が配置されました。そこで千手觀音様は「子年生まれ」の方を担当す
ることになられたのです。千手觀音様は「いつでも・どこでも・誰にでも」
身近な仏様ですが、なかでも子年の皆様に御縁の深い仏様ということです。

来年!!令和二年にご出産予定のお母様へ
令和二年にご誕生の赤ちゃんは千手觀音様が守り本尊です。千手觀音様
は「安産・子育て」の不安や心配事を取り除いてくださる仏様です。いつ
でもお気軽にご参詣ください。

来年!!令和二年に年男・年女になられるお方へ

特に還暦をお迎えのお方へ
尾張最古刹千手觀音靈場・寂光院へ是非ご結縁ください。

合掌



千手觀音（本堂）



大黒天（本堂前）

福德開運・商売繁盛の大黒さまは天明六年（一七八六年）作
寂光院は尾張最古刹といわれる如く一三六五年の歴史があります。「神仏習合」といって、仏さまと神さまが仲良くお祀りされているお寺です。
山上本堂の前には向かって右に、石像の「大黒天」（通称・大黒さま）がおいでになります。この大黒天のお背中には「天明六年（一七八六年）」作と刻まれています。二三〇年以上も参詣する善男善女をお守りになられています。ご覧の通りとても「福々しい笑顔」で、「福德開運・商売繁盛」の神様としてとても有名です。

千手觀音様と大黒さま

さて、この大黒天は実は「子年守護の神様」です。先ほど「神仏習合」と申しました。寂光院は、まさに仏さまとして子年守護の「千手觀音さま」、神さまとして子年守護の「大黒さま」を祀る、いわば子年生まれの方には最高にご縁の深いお寺です。
撫で神さま（スキンシップができる神さま）
 実はこの大黒様は「撫で神さま」です。お参りされる方はいつもそのお姿を直接撫でながらスキンシップができる神様です。ぜひとも商売繁盛・福德開運祈願の方は大黒様が右手に持たれる小槌（こづち）を、安産子育て祈願の方は大黒様のお腹をお撫でください。

**大黒天（大黒さま）は「福德開運・商売繁盛」の神様！
 さらに「子年（などし）の守護神」！**

寂光院は 安産・子育て 祈願のお寺です

普段、山上の本堂のご本尊・千手觀音様には、どなたも正面からお参りします。しかし、本堂には写真の如く裏堂があります。古来より安産子育て祈願の皆様はこの裏堂からもお参りをする作法が伝承されてきました。つまり、正面からご本尊千手觀音様を、裏堂からは千手觀音様の【胎内仏】をお参りするのです。胎内仏ですから、具体的にお姿を拝することはできませんが、千手觀音様の背面を拝むことにより、母胎安全、無事安産を祈願するのです。

実は明治12年本堂再建の折り、火災、自然災害などで本尊千手觀音様が難に会われるのを畏れて、胎内仏を山麓内仏堂の【御宝塔】にお移ししました。吉例である3月5日「秘仏觀音・おいただき」行事で、両掌にいただく「秘仏の觀音様」がこの胎内仏で、1寸8分（6センチ弱）の千手觀音様でいらっしゃいます。

現在、裏堂には大日如来様がお祀りしております。この大日如来様は、母親の母胎のようにすべての森羅万象を包み込むように温かくお守り下さる仏さまです。ぜひご参詣ください。

※安産子育てのご祈祷は千手觀音様の【胎内仏】をお祀りする山麓内仏堂で奉修いたしております



御宝塔（内仏堂）



胎内仏（厨子）



裏堂（本堂裏）

平成最後の年、思い出に残る講演会

犬山歴史研究会・各務原歴史研究会合同講演会

時 三月十七日 所 犬山国際観光センター・フロイデ

継鹿尾觀音

寂光院山主 松平實胤様

(前文略) 三月十七日には私ども犬山歴史研究会並びに各務原歴史研究会の合同講演会に際しまして、貴師にご講演をしていただき、厚くお礼申し上げます。お陰様で参加者は百名余を数え、研修室倉庫より机を増やしての大変盛況な会となりました。寂光院の由緒に関するお話では入唐僧でしかも玄奘三蔵の直弟子であつた開基道昭の存在の大きさを教えていただきました。まさに道昭は、古刹寂光院の元をお築きになられた方のようで、そして彼を厚く信頼した孝徳天皇が尾張美濃の要所に寂光院の元となる寺院建立の勅願を発せられたこともよく分かりました。

またヤマトタケルと千手觀音の関係を神仏習合の本地垂迹説よりお話しくだされ、「本地」が千手觀音で、「垂迹(身)」がヤマトタケルであることも、成る程とうなづきながら聞かせていただきました。

その後の寂光院の栄枯盛衰もお話しくださり、織田信長との関係など、時間の過ぎることも忘れて、参加者一同、大変興味深くお話を聞きることができました。心より御礼申し上げます。(原文のまま・以下略)

犬山歴史研究会長 丸山和成

「聴いて下さる皆様方のおかげ — 思い出に残る講演会 —



安産・子育・ご祈祷

令和2年（子年・ねどし）に御出産予定のお母様へ

尾張再古刹寂光院ご本尊・千手觀音様は子年生まれの方の守護仏です。

来年、令和2年にご出産予定のお母様の母胎安全・安産祈祷、赤ちゃん初参り祈願を現在承っております。妊婦様、赤ちゃんをお待たせしないようご祈祷は完全予約制です。お電話あるいはEメールでお申し出ください。（裏表紙左下に掲載）

場所は千手觀音胎内仏をお祀りする山麓内仏堂でご祈祷申し上げます。お車でおいでになりますので、妊婦様、赤ちゃんにも安心です。

【千手觀音胎内仏は秘仏ですので、毎年吉例の3月5日11時から1時間のみ特別公開されます。しかし、来年は令和初めての子年でございますので、特別祈願のお方様には、お帰りに「おいただきの作法」を奉修いたします】



3月5日「秘仏觀音おいただき」

寂光院友の会 千 手 会

心豊かに生きる喜び

寂光院は交通至便の処にありながら大自然に囲まれ、清爽の気が漂う、愛知県下最古の千手観音さまの靈場です。昨今「天下のパワースポット」として若人に人気で参詣する人々に「安らかな心」「生きる勇気」をプレゼントします。「千手会」は寂光院の本尊様である千手観音さまから戴いたお名前です。

千手会の催事

(非会員の方も参加費をご負担下されば聴講できます)。

やすらぎ説法

- 行催日 毎月第2日曜日
- 時 間 午前11時～12時半
- 場 所 聖徳殿
- 講 演 松平實胤山主

8月9日（金）

12：30開場 13：00開演
九万九千日記念講演会
「楽しい仏教教室」
ひろさちや先生



11月10日（日）

10：30開場
11：00開演
千手会総会・
やすらぎ説法&「やすらぎライブコンサート」
スターダストトリオ
(バイオリン　コントラバス　キーボード)



11月24日（日）

10：30開場 11：00開演
桂文治独演会



仏教に学ぶ 仏教を体験する

[千手会に入会ご希望の方は裏表紙（8頁）をご覧下さい]



静寂な山寺で お写経なさいませ!! 静かに瞑想なさいませ!!

— お出かけ案内(月例行事) 仏教を体験する —

5日	10:30	なな 七七月まいり 隨求菩薩ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
18日	10:30	なな 七七月まいり 千手観音ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
第1日曜日	11:00	阿字觀(瞑想)&チチ写経&チチ法話 静かな仏前で本来の自分に出会うひととき!
	10:00	お写経(般若心経を読む書く)
第2日曜日	11:00	やすらぎ説法(上記参照)
第3土曜日	13:00	写仏教室(仏さまを描く) 講師 前田道雄先生(中日文化センター講師)
第4日曜日	11:00	お写経の集い(般若心経を読む聞く書く)

阿字觀・お写経は上記に限らずいつでもご用意致しておりますのでお電話下さい(要予約)

お問い合わせ 0568-61-0035

詳しくは

犬山寂光院

検索



平成三十年 九万九千日記念慈悲行

本堂周辺（コンクリート製）参道を

「石畳」参道に改修・完了

(表紙写真・参照)

本堂正面に至る参道は絶景展望台（筆弘法大師・十二支恵当守り本尊靈場）・鐘楼に至る参道でもあります。また、本堂裏堂・弁天堂に至る参道であります。改修後はどちらにも参詣しやすくなりました。左ページ各企業並びに篤信の皆様のご協賛により、改修が完了いたしました。ここに衷心より、御礼申し上げる次第です。

令和元年 九万九千日記念慈悲行

繼鹿尾山参道「観音坂」大改修

寂光院は山寺でございます。山麓から寂光院の庫裏までは一五〇段の石段参道が唯一の交通手段でした。昭和四十年に伊勢湾台風で倒壊した庫裏事務所を再建するためには山野を切り開き、車で資材を運ぶ道路が開設されました。それが「観音坂」でございます。一番の大動脈である観音坂も五〇余年を経てコンクリートの劣化が進み通行にも支障をきたすようになりました。

そこで「観音坂」を大改修して、ご参詣の皆様への慈悲行とさせていただきたく、ここに発願いたしました。

皆様方のご信援ご協賛を何卒よろしくお願い申上げます。

九万九千日記念慈悲行

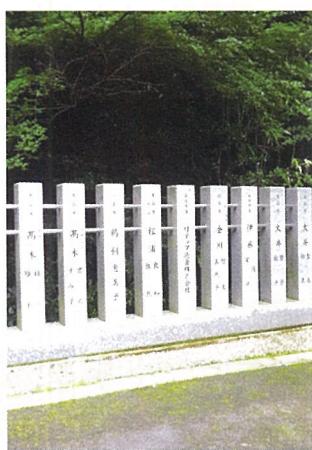
大慈悲会員 慈悲会員 銘板

吉例・九万九千日記念慈悲行に大慈悲会員ならびに慈悲会員としてご協賛いただきました皆様のご芳名版は、絶景展望台（十二支恵当守り本尊靈場）の中心においてなる筆弘法大師の台座下に謹刻しております。なお、篤志会員並びに協賛会員様のご芳名版は法輪殿（参詣者休憩所）にご掲示しております。



お申し込み受付中 !!

玉垣建立のおすすめ



寂光院友の会 千手会ご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです

千手会にはれすられしい制約は一切ありません

千手会はすべて自由参加です
是非ご入会下さい

千手会申込書

(特典はホームページをご覧下さい)

正会員（一〇三千円）
贊助会員（一〇三万円）

右申込致します

住所
二

12

電話

年月日

おとし



內陣
特別參拜

月例大護摩祈禱（祈りの淨火）

毎月五日・十八日、午前十時半

この日、この時の吉縁

ご本尊千手觀音様の御前で、お願ひ事を淨書した護摩木を手に直接お参りでります。そのあと、「やすらぎ法話」にもご参加いただけます。

淨書した護摩木を手に直接お参りでります。そのあと、「やすらぎ法話」にもご参加いただけます。

「お護摩」の淨火で清新な
自分を取り戻して、觀音
様から「お願い事」を
成就できる力を戴く
ご祈祷です。



ご縁の日がご縁日

七七月まいりは「月参り」です。いつでもご都合のよろしい日がご縁の日（縁日）【七七月まいり】の受付は年中無休です。

寂光院への連絡方法

- ①電話
0568 (61) 0035
- ②FAX
0568 (61) 5953
- ③〒振替
00800-4-40664
- ④ホームページ

犬山寂光院 

七ヶ月お参りすると「大願成就」
!!

七七月まいり（心を養う）

○五日 健康長寿
十八日 一心祈願
大隨求菩薩縁日
千手觀世音縁日

・各十時半より

大護摩祈祷と松平實胤山主の
「やすらぎ法話」

・犬山遊園駅より直通バスあり

発行所
四八四一〇〇九一
愛知県犬山市繼鹿尾山
令和元年八月九日発行
(第五十七号)